



ようとう保育園
TEL 028-612-2461
2023年1月4日



あけましておめでとうございます。

本年もようとう保育園をよろしくお願ひいたします。

子どもたちの元気な声や挨拶と共に、新年を迎えることができました。今年度も残り3カ月となりました。徐々に生活リズムを取り戻し、体調管理に十分気を付けて、一日一日を大切に過ごして

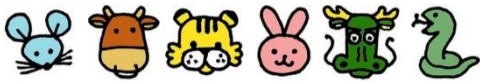
いきたいと思ひます。また、昨年は新型コロナウイルス感染症対策のご理解、ご協力をいただきありがとうございました。本年も感染症対策をしっかりとしながら園生活を健やかに送れるよう工夫していきたいと思ひます。

※2022年度幼児組生活発表会アンケートのご報告を裏面に掲載しましたので併せてご覧ください。

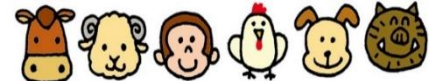
※行事・活動の様子はホームページ「ようとう保育園」【ブログ】【ギャラリー】に掲載しています。

《行事》

- 19日 歯科健診
- 20日 誕生会
- 27日 避難訓練



クラスの様子



つくし組

両手を合わせて「(ごちそうさまでし) たー！」とおじぎをしながらご挨拶。口拭きタオルとエプロンを持って自分のロッカーへ片付けようとするなど、身のまわりのことに興味津々です。保育士が汚れ物のカゴを床に置くと嬉しそうに声を上げて片付け、自分でできた喜びを味わっています。

園庭では、コップに砂を入れて「あーん」と言って保育士に食べさせようとするなど、見立てあそびを楽しんでいます。「おいしいね」と伝えると、自分の頬に手を添えて“おいしい”と仕草で表現して簡単なやり取りもできるようになってきました。これからの成長がますます楽しみです。

《ねらい》

正月明けの生活リズムを整え、寒い冬を健康に過ごす。

たんぽぽ組

泥や砂で団子やケーキを作るなど、見立てあそびを楽しめるようになってきました。“おべんとうばこのうた”から“にんじんさん”“さくらんぼさん”を作ったり、絵本に出てくる食べ物を作ったりと、様々なものからイメージを膨らませてあそびに取り入れています。さらに作った物を「ください」「どうぞ」と友だち同士でやり取りする姿も見られるようになりました。「おいしいね」と顔を見合わせながら食べている姿は見ているほほえましいです。引き続き共にイメージを膨らませながら見立てあそびを楽しみ、友だち同士で楽しさを共有できる働きかけをしていきたいと思ひます。

《ねらい》

冬の自然児親しみながら十分に体を動かし、寒い時期を元気に過ごす。

つばめ組

戸外あそびが大好きな子どもたち。「寒いから上着きる」とハンガーから自分の上着を取り、着ようとしたり、ファスナー類を閉めようとする姿が増えてきました。袖が左右反対になってしまうなど苦戦している姿も見られますが、自分でやろうとする姿に成長を感じます。「かくれんぼしよう」など簡単なルールのあるあそびも楽しめるようになり、「隠れるから見つけてね！」など子ども同士で決めてあそぶ姿も見られるようになりました。保育士も一緒に参加し、ルールを伝えながら楽しめるようにしています。まだまだ寒い日が続くと思ひますが、怪我などに気を付けながら戸外あそびを充実させていきたいと思ひます。

《ねらい》

簡単な身のまわりのことに自信をもち意欲的に取り組む。

うぐいす組

最近「先生〇〇やろう」と子どもたちからお誘いが。へび鬼やだるまさんがころんだ、ジャンケン列車など興味が広がり、ルールのあるあそびに積極的に参加する姿が見られるようになりました。ままごとでは、小さなテーブルを椅子で囲み、おいしそうな食べ物を並べてパーティーごっこ。「先生も入っていいよ」と仲間に入れてもらっています。時には「僕が先に使った！」とトラブルになることもありますが、仲立ちすると「終わったら貸して」「いいよ！」と仲直り。相手の気持ちにも少しずつ気づけるように関わりながら、気の合う友だちと安心して過ごせるようにしていこうと思ひます。

《ねらい》

ルールを守ることであそびがより楽しくなることを知り、友だちや保育士と一緒に体験しながらあそぶ。

ふじ組

劇あそびに使う桃や鬼ヶ島、きびだんごをみんなで作りしました。完成した背景や小道具に子どもたちはワクワクして、台詞も自分の動きもすぐに覚えることができました。ナレーター役や長い台詞、演技にも挑戦し、練習を重ねていくうちに、自信を持ちながら達成感を味わえました。大好きな英語やダンスの他に、日頃から歌や色を手話で表現する機会があり「LOVE&PEACH」のかけ声の時に取り入れると「こうで合ってる?」「ピーチは桃だからピンクなんだね」と子どもたちで確認し合う姿が見られました。本番ではたくさんのお客さんを目の前に緊張しながらも、ふじ組らしい発表会になりました。

《ねらい》

友だちと思ひや考えを伝え合いながらあそぶ楽しさを知る。

さくら組

「今日は劇あそびする?」「台詞覚えたよ」と毎日練習を重ね、取り組んできた発表会。ステージの上では少し緊張しながらも、一人ひとりが自分らしく表現をする姿に成長を感じました。皆で一つのことをやりとげた達成感を味わうことができ、自信をつけたことで、日々の生活のなかでも、友だちと協力したり話し合いながらあそびや活動を進めていくことが増えました。

戸外では、手つなぎ鬼やふやし鬼などルールのあるあそびをクラスの子だけではなく、年下のクラスの子たちも誘い、ルールを伝えながら中心となってあそんでいます。

《ねらい》

自分なりの目標をもち、繰り返し試したり工夫したりして、あそびや活動をすすめていく。